

日本画の情景 —幕末から 近代へ

2018
9/4  10/14 

企画展「幕末狩野派展」開催にあわせて、

収蔵品展では、同時代を生きた狩野派以外の画家たちをご紹介します。

江戸後期の京都画壇を牽引し、

近代にも受け継がれていく円山四条派や、

当地静岡にも大きな足跡を残す関東南画系の画家の作品、

また、明治以降、新たな絵画のあり方を模索して奮闘した人々の

個性豊かな作品などを、ご覧いただきます。

時代の転換期における多様な創作と挑戦を、

どうぞお楽しみください。

フロアレクチャーのご案内

当館学芸員が展示室で作品について解説します。

9月17日(月・祝) 14:00~
10月8日(月・祝) 14:00~

ギャラリーツアーのご案内

当館ボランティアが対話形式で展示室の作品を
ご案内します(各回30分程度)。

9月15日(土) 13:30~、14:30~、
10月6日(土) ●13:30~、14:30~

*●はロダン館、ほかは第7展示室の作品について
ご紹介します。

*集合場所：第7室については収蔵品展入口、
ロダン館については同入口。申込不要。



渡辺省亭《十二ヶ月花鳥図》(個人蔵)より「十月」 明治時代

塩川文麟《琵琶湖八勝図》(当館蔵) 嘉永6年(1853)



同時開催企画展

幕末狩野派展

9月11日(火)~10月28日(日)